

雇用保険二事業に関する懇談会議事要旨

日時：平成25年6月7日（金） 15：00～17：00

場所：職業安定局第1会議室（中央合同庁舎5号館）

出席者：川本裕康氏、高橋弘行氏（日本経済団体連合会）、飯田弘二氏（野村證券）加藤篤志氏、小林信氏（全国中小企業団体中央会）、橋本浩樹氏（王子製紙株式会社）、間部彰成氏（日本商工会議所）

議題：・平成25年度の雇用保険二事業による事業の目標設定について

議事：

- ・ 事務局より、資料に基づき説明。
- ・ その後、出席者より主に以下のような発言があった。

【主な発言】

- ・ 事業類型③就職支援型と⑤環境整備型の事業については、二事業として行うべきものなのか疑問なものがある。特に評価が低いものについては、一段と厳しい目標設定を行う等の工夫を行うべき。
- ・ 目標設定について、過去の実績を踏まえて設定していると説明している事業が多いが、本来目標は実績を踏まえて高めに設定して、より改善していくものではないか。
- ・ 二事業財政について、現在370億円の借入れを行っている状況であり財政的に厳しい。財政状況全体の見通しを立てた上で個別の事業を考慮していくべきであり、その上で早期に借入金を返済することが必要。
- ・ 障害者雇用促進法改正法が成立し、5年後には精神障害者の雇用義務が発生するため、企業に対する大幅な支援が必要となるが、障害者雇用に対する支援は一般会計や納付金で対応すべきものとする。二事業で行う支援については、その範囲を明確にすべき。
- ・ アンケート結果の割合のみを目標としている事業については、これだけでなく、他の客観的な指標を組み合わせて目標として設定すべき。
- ・ 産業競争力会議で議論されている事業について、今後予算化の作業を行うことになると思うが、二事業の趣旨と合致するものは充実させる一方、合致しないものは二事業以外の予算から充当するようお願いする。